



# きさらづ 2015年夏号 No. 68 市民ネットワーク通信

市議会議員 田中のりこ

発行/きさらづ市民ネットワーク 発行責任者/田中紀子 事務所/木更津市八幡台 3-4-8 TEL・FAX: 0438-36-0677

ブログや Facebook に日々更新中

田中のりこと市民ネット  検索

田中のりこ  検索

## 来年度から使う 中学の教科書は どれに？



### 今、教科書が危ない

歴史1つをとっても、各出版社の教科書により、解釈と表現が違ふ。国会は、安全保障関連法案が委員会で強行採決後、衆議院で可決された。

教科書で子どもの考えがコントロールされることがあってはならない。

### 教科書を決めるのはだれ？

- ① 各教科専門の先生の研究調査員が、各社の教科ごとの教科書の特徴を調査研究。選定資料を作る。
- ② 4市(木更津・君津・富津・袖ヶ浦)の教育委員会代表、校長会代表、教諭代表、保護者代表計20名で構成の協議会は、審議をして、教科書を選択(非公開)。

③ 各市の教育委員会会議の議決を経て、使用する教科書を採択。

教育委員会が採択する前に、市民のチェックする場としてある「教科書展示会」の開催は知られていない。また、市原市や船橋市、千葉市では市民が傍聴できる。

### 教科書展示会に行く

6/29に有志10人で、教科書展示会(写真右)に行った。こども時代に戦争体験がある参加者は、こどもの頃にタイムスリップ。歴史の教科書では、戦争の記述、公民の教科書で憲法の記述など、手分けして読み比べた。「出版社によっては、戦争ひとつとっても民衆の視点のものから国策の視点で書かれていたり、違

っていてびっくり」と参加者の声。

### もっと身近な教科書展示会

田中のりこは昨年度、議会で質問した。その成果として、新たに『9月に中央公民館2Fで教科書展示会を開催』する。

すでにどの教科書にするか採択した後だが、ぜひ、こどもたちの教科書が、自分たちの時とどう違うか見比べてみよう。



6月23日、木更津駅東口で「安倍政権のすすめる安保法制にあなたは？」のシール投票をした。



結果、賛成6 反対82。  
そのうち18歳未満は、  
賛成2 反対44

### 【予告】11/2(月)~4(水)手作り品販売 ハート村

### 手作り品の出店希望者 募集中

(出店料 3日間で500円)

詳しくは きさらづ市民ネットワーク

問合せ先 070-2172-8480 担当(竹内洋子)



# 田中のりこ 暮らしと政治をつなぐ

## 65歳以上の1人暮らしだけでなく、高齢者だけの家族も緊急通報装置、設置可能

以前、議会質問し、緊急通報装置は65歳以上の一人暮らしだけでなく、高齢者だけの夫婦や家族でも利用できるようになった。しかし現在、実際の利用者はふえていない。

去る6/14八幡台公民館にて、八幡台自治会3区と民生委員で緊急通報装置の説明会を開催。緊急通報装置の設置の呼びかけは地域の民生委員だが、説明会は初めて。市民ネットも後援し、60人以上の参加者は、高齢者福祉課の説明を熱心に聞き、知り合いにも伝えたいと帰っていった。この説明会で「点から面へと広がる」。

総合警備保障(株)のアルソックと契約し、木更津市で貸し出している緊急通報装置。所得によって3段階(無料・918円/月・1836円/月)。玄関にアルソックのシールを貼る。体調

異変の時だけでなく、押し売りなどで困っているときもボタンを押せば、警備員が駆けつけ、防犯効果大! また、台所に火災報知器も取り付け。

**木更津市の「へえ〜」クイズ-緊急通報装置-**

緊急通報装置とセットになっている火災報知器は、火災のときに

- a) 音が鳴り、火災を知らせる
- b) 音が鳴り、警備員が駆けつける

答えは b) 従来の火災報知器を設置していても、その横に設置をお勧めします。設置の相談は、お近くの民生委員、または高齢者福祉課 (☎23-2630) へ

## 火葬場は、現在の場所に建替で

50年近く使用し続けた火葬場は老朽化している。木更津市は「H33年度のオープンをめざすには、まず、地元住民への説明会を行いたい。4市(木更津、君津、富津、袖ヶ浦)で利用予定のため、火葬場までの道路整備も必要と考えている」と6月議会で説明した。

「火葬場への道は全国の人が訪れる道だから、いつもきれいにしている」と言っていた地域住民の言葉を思い出した。

昨年度、市民ネットワークでは安房聖苑を視察したが、外観もきれいで煙突もなかった。今年度、建設経済常任委員会(田中は副委員長)でも、7月24

日に安房聖苑を視察した。

### 木更津市の火葬場の利用実態の現状

同日に火葬件数が多いと他市の火葬場を利用する。これはお互い様だ。下表をみると、約1割弱が袖ヶ浦市民。県内で、市町村が出資して整備した火葬場を持っていないのは袖ヶ浦市だけ。

新火葬場をつくるにあたり、お互い様の精神で費用負担し施設整備をした自治体優先に。そして道路整備をして、地域生活に支障ないようにと考える。

H26年度火葬件数	
木更津市民	1215
君津市民	5
富津市民	0
袖ヶ浦市民	114
その他市外	45

## 介護予防・日常生活支援総合事業

### 新たな「訪問型サービスD」

訪問型サービスDとは、要支援1、2とチェックリスト(※)対象者への移動サービスの提供のサービス形態の一つ。「NPOライフサポート波岡」の生活バスは、地域における移動支援の活動中。6月議会で質問。木更津市は「生活バスが、この訪問型サービスDに該当するか、他事業と同様、聞き取り調査を始める」と回答した。

※チェックリスト…これまで二次予防事業対象者の把握のために利用していたものと同じ。閉じこもり、認知機能の低下など、25の質問項目に回答するもの

## 市民からの問題提起 No.7

「末は博士か大臣か」私がこどもの頃のほめ言葉として使われていたが、今では耳にしなくなった。選挙権は18歳からとなり、社会人として若人が政治に関心を持ってほしいと思っていた。

### 教科書展示会に行く

来年から使う中学の教科書がいろいろ展示されていた。この中のどれかが選定される。

まず、中学生はこんなに内容が豊富なことを学んでいるのかと驚いた。十分な知識があり、18歳を迎えることがわかった。暮らしと

政治が繋がらないことが、若者の選挙離れなのか。せっかく学んだ知識が暮らしに活かされていないのではないのか。

### 大人に求めること

中学や高校では、ぜひ選挙権の意味、「国民主権(主権者がその国民であること)」を再確認する教育をしてほしい。これは日本国憲法の大切な原則の1つでもある。

そして、子ども議会を開催している自治体もあるという。親子で木更津市の市政に対し、関心をもつ機会にもなると考える。(Y.T)

【編集後記】田中のりこは2期目続投となり、きさらづ市民ネットワークも再スタート■6月議会では、選挙について質問した。(8/1に配布のきさらづ市議会だよりに掲載した■20・30代の投票率が低い。選挙権年齢を20歳以上から18歳以上に■改めて暮らしと政治がもっと身近になる情報の出し方が必要か■この通信もちょっぴりリニューアルしたことがわかってもらえただろうか。表面の挿絵は、市内在住の高校生に依頼した■できあがった挿絵をみて、事務所では「これ、だれだろう」「あっ。猫がいるから、夏目漱石?!」「これは?」若い息吹に市民ネットの事務所では話が弾んだ(のりこ)